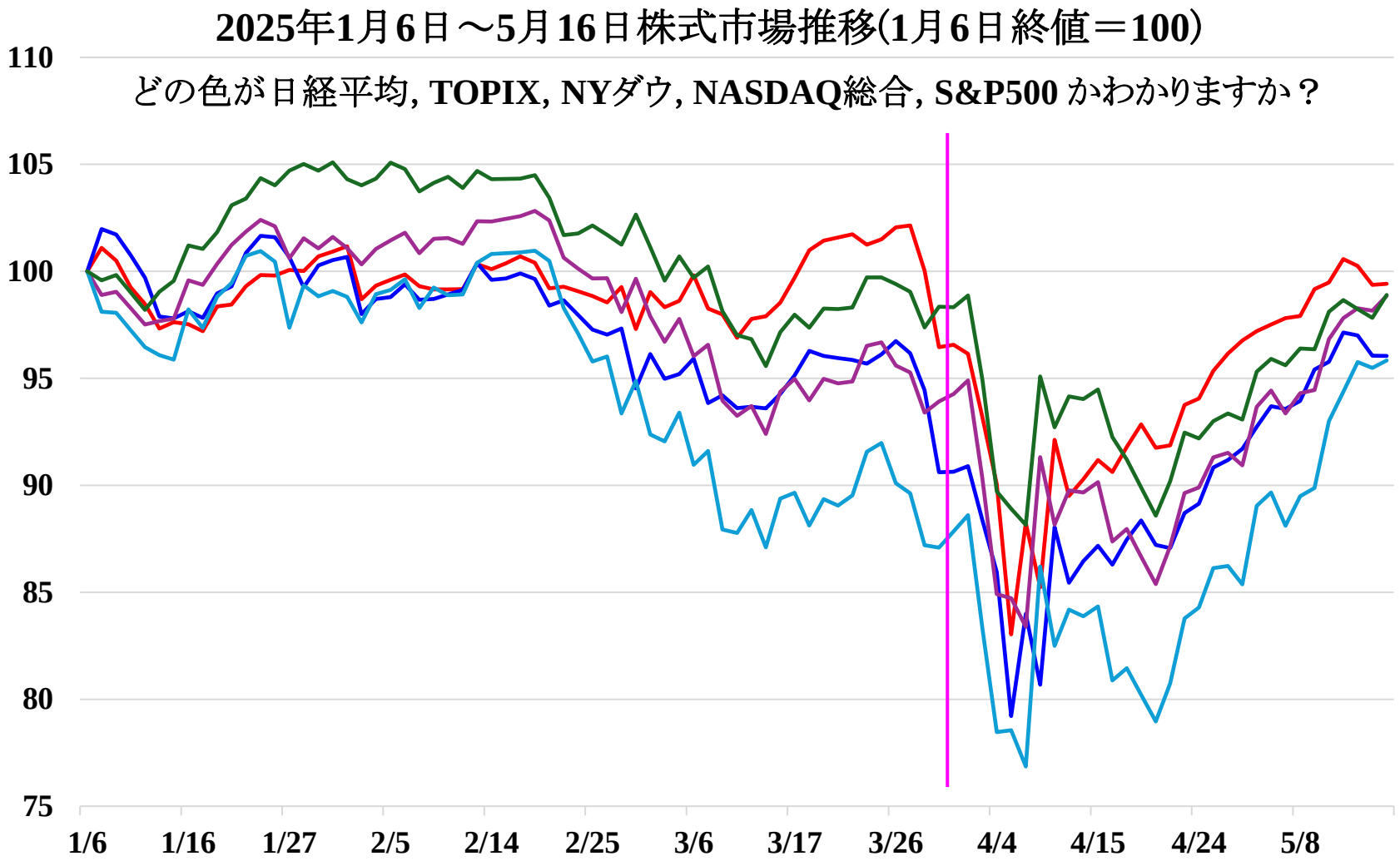
Simplex Institute

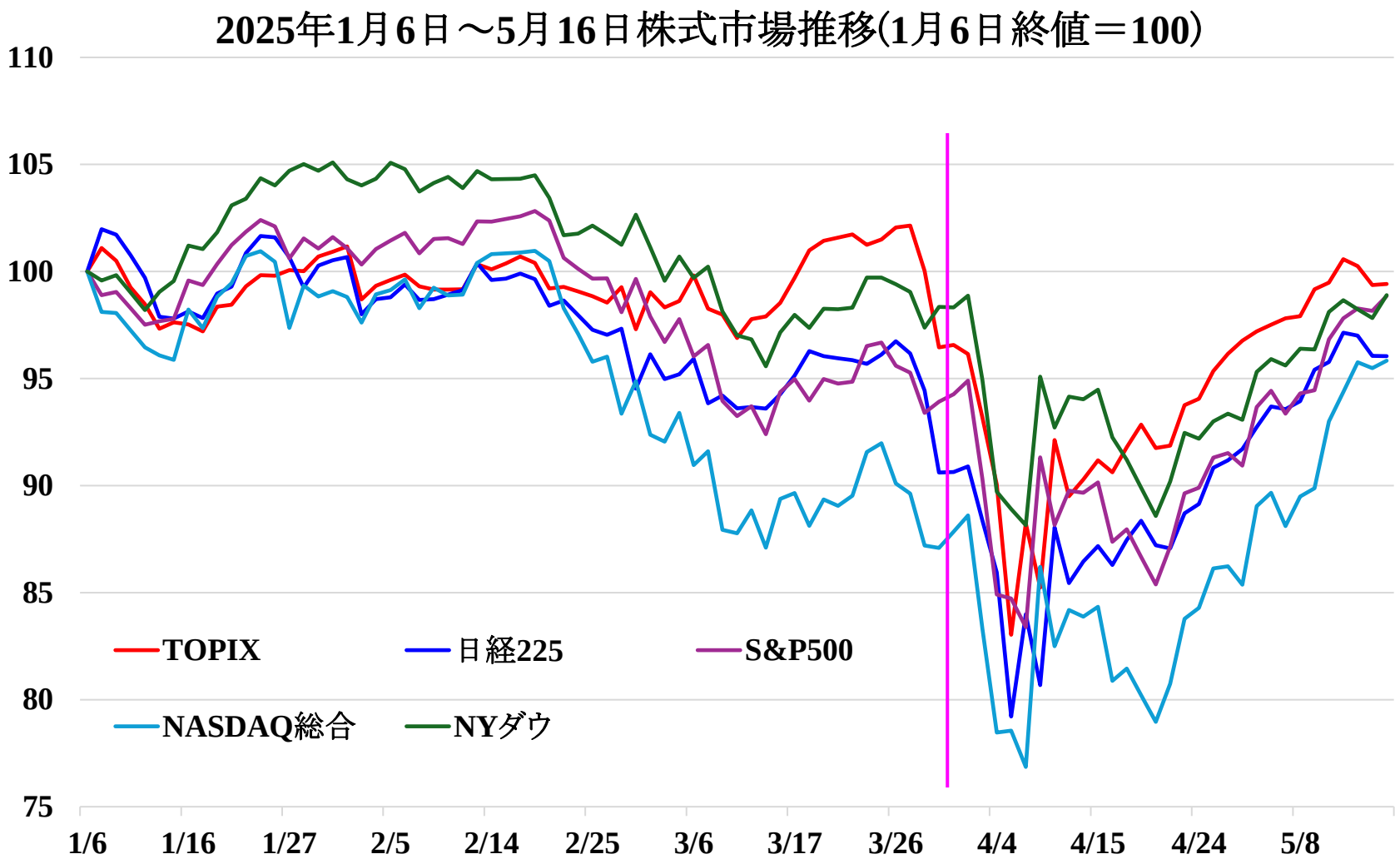
カバードコール戦略

2025年 5月

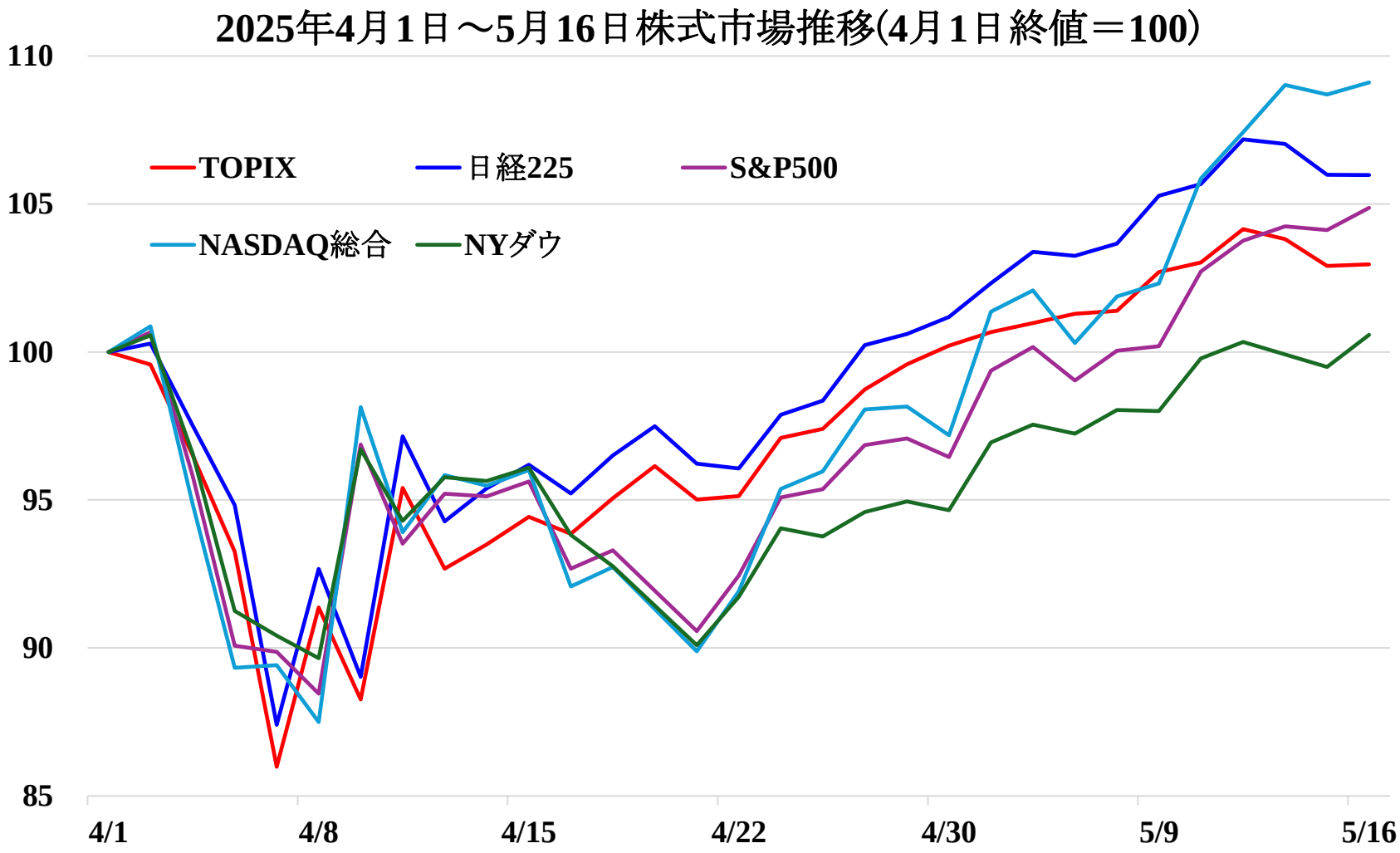
最近の株式市場


2025年1月6日～5月16日株式市場推移(1月6日終値＝100)
どの色が日経平均, TOPIX, NYダウ, NASDAQ総合, S&P500かわかりますか？
110
105
100
95
90
85
80
75
1/6
1/16
1/27
2/5
2/14
2/25
3/6
3/17
3/26
4/4
4/15
4/24
5/8

最近の株式市場

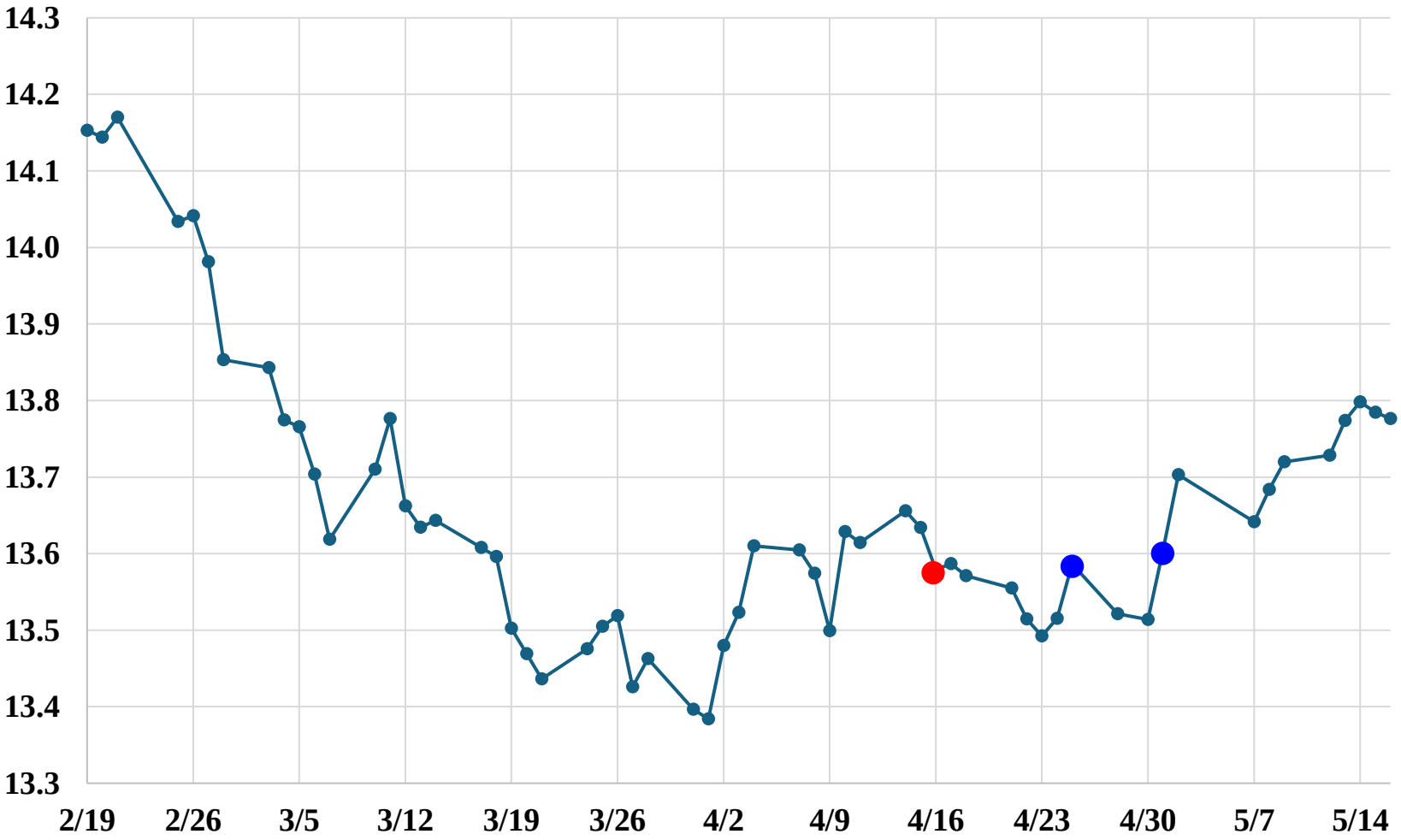

2025年1月6日～5月16日株式市場推移(1月6日終値＝100)
110
105
100
95
90
85
80
75
1/6
1/16
1/27
2/5
2/14
2/25
3/6
3/17
3/26
4/4
4/15
4/24
5/8
TOPIX
日経225
S&P500
NASDAQ総合
NYダウ

直近の株式市場


2025年4月1日～5月16日株式市場推移(4月1日終値＝100)
110
105
100
95
90
85
TOPIX
日経225
S&P500
NASDAQ総合
NYダウ
4/1
4/8
4/15
4/22
4/30
5/9
5/16

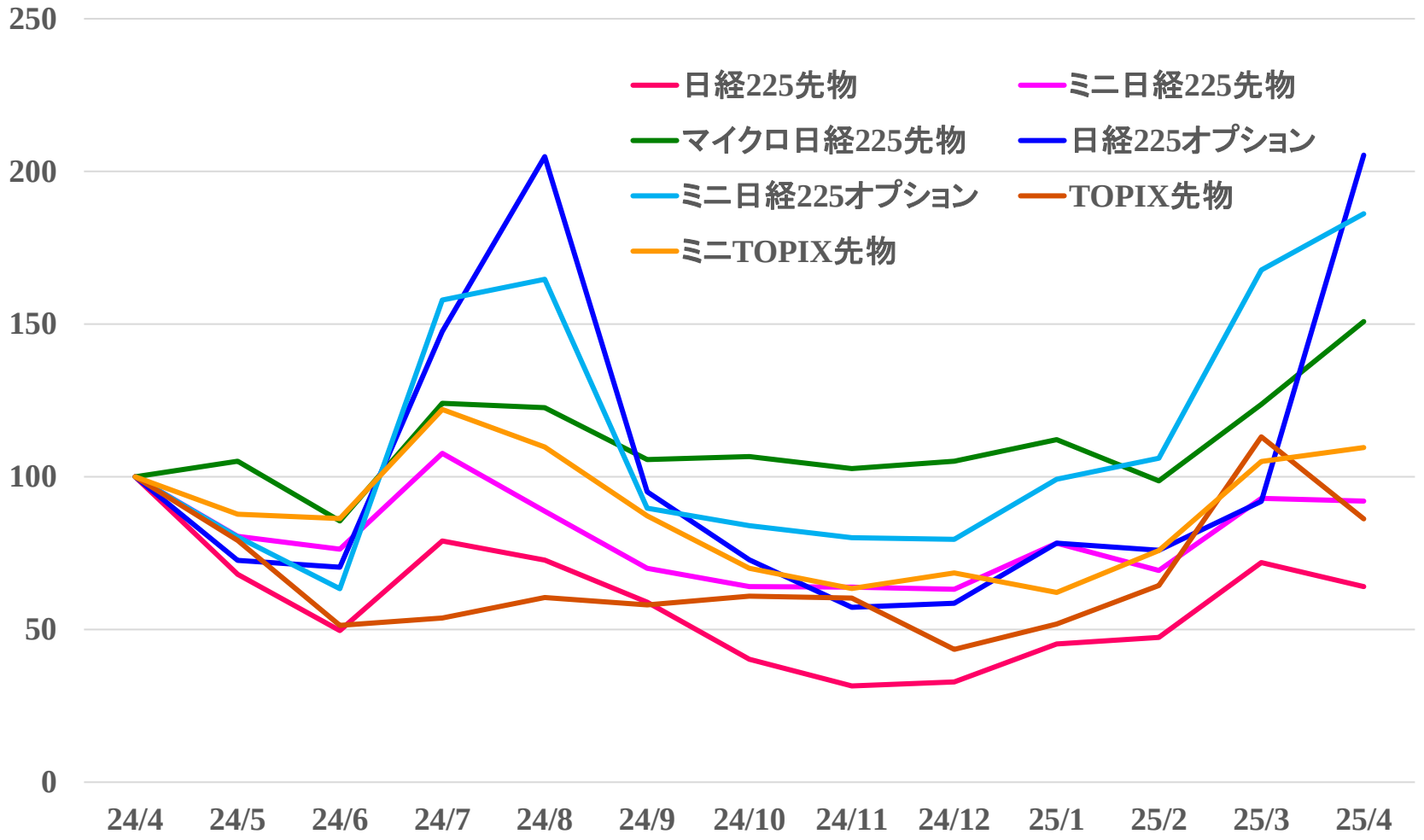
NTレシオの現状

NTレシオ：2025年2月19日～5月16日



売買代金

SBI証券全体の主要銘柄の売買代金
（2024年4月の売買代金＝100）



「カバードコール」とは

概念：「限定的な上昇相場」から利益を得る戦略のひとつ

形式：同限月の同枚数の先物買いとコール売り

原理：コールの「時間価値」を利益に変える

オプション価値 = 本質的価値 + 時間価値

本質的価値 = 主に日経平均株価と行使価格の差から決まる価値

時間価値 = 残存日数から決まる価値

この「時間価値」を利益の源泉とする戦略である

方法：先物買いから入り，十分な利益が出た段階でコールを売る

行使価格は予想する「相場の天井」に近いところ

注）「ロング・ポジション」であることには変わりはないので，大幅下落には弱い

「カバードコール」成功例

2025年4月30日（水）16時00分

日経ミニ5月限 1枚を 35,940円で新規買（カバードコールをやる予定）

2025年5月2日（金）16時00分

日経ミニ5月限が 36,800円近くまで上昇したので, 行使価格 37,500円の5月限ミニコールを 155円で新規売

2025年5月9日（金）SQ

日経ミニ5月限を 37,572.13円で決済売 → 損益 = +157,213円

5月限37000ミニコールを 72.13円で決済買 → 損益 = +8,287円

損益合計は +165,500円で先物をSQ値で決済するより多少利益が増えた

注）もっと高くコールを売れていれば利益はさらに大きくなる

「カバードコール」失敗例

2025年5月8日(木) 3時10～20分

日経ミニ9月限 1枚を 36,600円で新規買(カバードコールをやる予定)

2025年5月8日 (木) 4時40分ごろ

日経ミニ9月限が 37,000円近くまで上昇したので, 行使価格 37,000円の 5月第3週限ミニコールを 400円で新規売

2025年5月12日(月) 18時20分ごろ

日経ミニ9月限 1枚を 38,350円で決済売 → 損益 = +175,000円

5月第3週限37000ミニコールを 1,400円で決済買 → 損益 = −100,000円

損益合計は +75,000円であり, コールがSQで ITMとなった場合とほぼ同じ

何が問題だったのか？

答:コールを売り急いだこと →「相場は強い」と読んでいたのに・・・・

何はともあれ, コールをいかに高く売るかがカバードコールのコツ

さらなる勉強のために

大阪取引所から公開されているサイト

『OSE先物・オプション シミュレーター』

（ https://www.fopstudy.com/ ）

(1) 無料で先物・オプション取引を体験

(2) ゲーム感覚で楽しく学習

(3) 本格的な取引画面

(4) 解説動画付きで分かりやすい

講師プロフィール

伊藤祐輔（いとうゆうすけ）

株式会社シンプレクス・インスティテュート　代表取締役

1976年早稲田大学理工学部数学科卒業，**1983**年同大学大学院理工学研究科後期課程修了。偏微分方程式論の研究活動のかたわら数学教育を続け，**1989**年ソロモン・ブラザーズ・アジア証券(現シティグループ証券)に入社。株式部長，株式デリバティブトレーダーとして**10**年間マーケットにかかわる。**1999**年インドスエズ・ダブリュ・アイ・カー証券(現カリヨン証券)に移りトレーディングデスクの再構築を行い**2000**年(株)シンプレクス・インスティテュート代表取締役就任。

免責事項

当資料の内容は，投資判断の参考として投資一般に関する情報提供を目的としたものであり，投資の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は，ご自身の判断と責任においてなさるようにお願い致します。株式会社シンプレクス・インスティテュートでは，当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても，一切の責任を負うものではありません。

無断転載を禁ず
当資料の全部、または一部を無断で複写・複製・転載、および磁気・高記録媒体に入力することなどは、著作権法上の例外を除き禁じられています。

株式会社シンプレクス・インスティテュート
〒105-6223　東京都港区愛宕2-5-1
愛宕グリーンヒルズMORIタワー23階
URL：http://www.simplexinst.com
E-mail：info@simplexinst.com

ご注意事項

•本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。万一、本資料に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社、および情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製、または販売等を行うことは固く禁じます。

•必要証拠金額は当社証拠金（発注済の注文等を加味した証拠金×**100%**）－ネット・オプション価値（**Net Option Value**）の総額となります。

•当社証拠金、およびネット・オプション価値（**Net Option Value**）の総額は発注・約定ごとに再計算されます。

•証拠金に対する掛け目は、指数・有価証券価格の変動状況などを考慮のうえ、与信管理の観点から、当社の独自の判断により一律、またはお客さまごとに変更することがあります。

•「**HYPER**先物コース」選択時の取引における建玉保有期限は原則新規建てしたセッションに限定されます。なお、各種設定においてセッション跨ぎ設定を「あり」とした場合には、プレクロージング開始時点の証拠金維持率（お客さま毎の証拠金掛目およびロスカット率設定に関わらず必要証拠金額は証拠金×**100%**で計算）が**100%**を上回っていれば、翌セッションに建玉を持ち越せます。「**HYPER**先物コース」選択時は必要証拠金額は証拠金×**50%**～**90%**の範囲で任意に設定が可能であり、また、自動的に決済を行う「ロスカット」機能が働く取引となります。

•先物・オプションの証拠金については日本証券クリアリング機構の**WEB**サイトをご覧ください。

•指数先物の価格は、対象とする指数の変動等により上下しますので、これにより損失を被ることがあります。市場価格が予想とは反対の方向に変化したときには、比較的短期間のうちに証拠金の大部分、またはそのすべてを失うこともあります。その損失は証拠金の額だけに限定されません。また、指数先物取引は、少額の証拠金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失を被る危険性を有しています。

•日経平均**VI**先物取引は、一般的な先物取引のリスクに加え、以下のような日経平均VIの変動の特性上、日経平均**VI**先物取引の売方には特有のリスクが存在し、その損失は株価指数先物取引と比較して非常に大きくなる可能性があります。資産・経験が十分でないお客さまが日経平均VI先物取引を行う際には、売建てを避けてください。

ご注意事項

- 日経平均VIは、相場の下落時に急上昇するという特徴があります。
- 日経平均VIは、急上昇した後に数値が一定のレンジ（20～30程度）に回帰するという特徴を持っています。
日経平均VIは、短期間で急激に数値が変動するため、リアルタイムで価格情報を入手できない環境での取引は推奨されません。
- 指数オプションの価格は、対象とする指数の変動等により上下しますので、これにより損失を被ることがあります。なお、オプションを行使できる期間には制限がありますので留意が必要です。買方が期日までに権利行使又は転売を行わない場合には、権利は消滅します。この場合、買方は投資資金の全額を失うことになります。売方は、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。また、指数オプション取引は、市場価格が現実の指数に応じて変動しますので、その変動率は現実の指数に比べて大きくなる傾向があり、場合によっては大きな損失を被る危険性を有しています。
- 未成年口座のお客さまは先物・オプション取引口座の開設は受付いたしておりません。
- 「J-NETクロス取引」で取引所 立会市場の最良気配と同値でマッチングする場合、本サービスをご利用いただくお客さまには金銭的利益は生じないものの、SBI証券は委託手数料を機関投資家から受け取ります。
- J-NETクロス取引の詳細は適宜修正される可能性がありますのでご留意ください。

金融商品取引法等に係る表示

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。これらの商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所**CFD**（くりっく株**365**）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。商品毎に手数料等及びリスクは異なりますので、詳細につきましては、**SBI** 証券**WEB** サイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

金融商品取引法等に係る表示
https://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop6040_torihikihou.html

商号等：株式会社**SBI**証券　（金融商品取引業者、商品先物取引業者）

登録番号：関東財務局長（金商）第**44**号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 日本**STO**協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会